

2020年7月28日
日本電気硝子株式会社

Nittoと共同で世界初^(*)の「超薄板ガラス偏光フィルム」を開発

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：松本元春）は今般、日東電工株式会社（本社：大阪市 社長：高崎秀雄 以下、Nitto）と共同で連続生産性に優れたロール・ツー・ロールプロセスによる「超薄板ガラス偏光フィルム」（以下、本製品）の開発に成功しました。

両社は、当社の超薄板ガラス G-Leaf[®]と Nitto の持つ多種多様な高機能樹脂フィルムとの複合化により、これまでにない新しい機能を持つ新材料の開発を進めています。本製品は、100 μ m 厚の超薄板ガラス G-Leaf[®]と Nitto の薄型偏光フィルムをロール・ツー・ロールプロセスにより貼り合わせて一体化した世界初の製品です。非常に薄く、軽量なため、ディスプレイパネルのカバーに使用することで、ディスプレイ最表面と画像表示面との視差低減による視認性向上やタッチセンサー感度向上に大きく寄与します。また、ガラス特有の質感や平面平滑性、硬度を持ち合わせています。

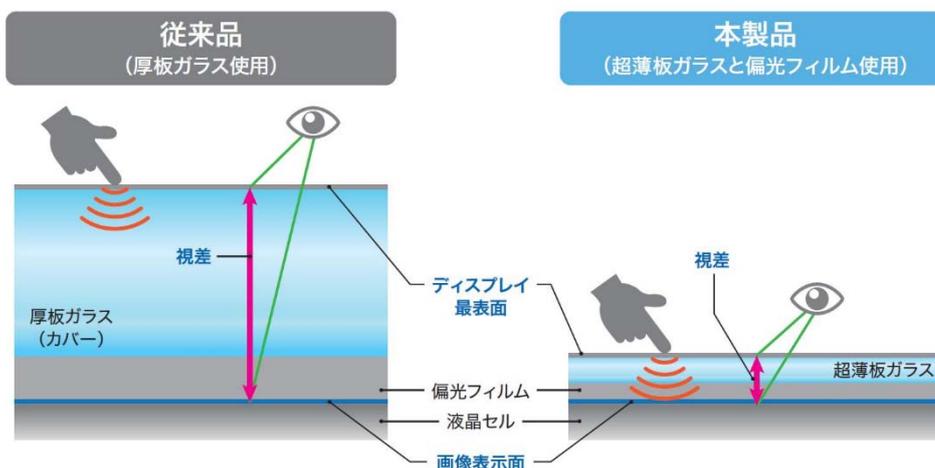
本製品は、当社が量産技術を確立した全長 1km を超える G-Leaf[®]ロールと Nitto の薄型偏光フィルムを、Nitto が独自のロール・ツー・ロールプロセスにて連続的に精密接着積層してロール状に巻き取ることで製造されます。現在ディスプレイ分野への早期対応に向け量産準備中です。

今後も、さまざまな分野への貢献を視野に入れ、引き続き、Nitto と共同開発を進めてまいります。

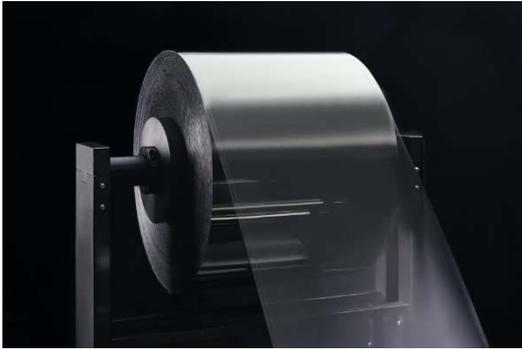
本製品の詳細については、2020 SID Virtual Display Week（8月3日～7日）のシンポジウムで発表します。（URL: <http://www.displayweek.org/>）

* ロール・ツー・ロールプロセスにより製造されたもの。2020年7月 Nitto および当社調べ

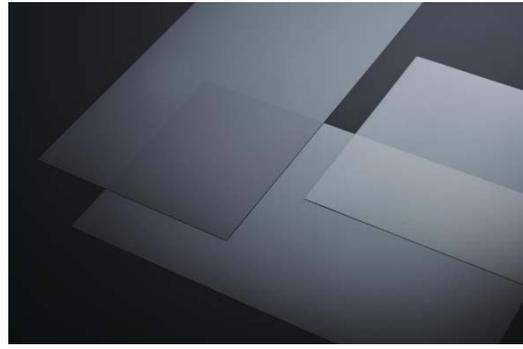
（視差低減のイメージ）



(製品写真)



ロール品



シート品

<Nitto について>

Nitto は、「Innovation for Customers」をブランドスローガンに掲げ、グローバルに事業を展開する高性能材料メーカーです。エレクトロニクス分野では、ディスプレイ用の偏光板、透明粘着シート、タッチセンサー用透明導電フィルムなど世界トップレベルの技術で、液晶・有機 EL ディスプレイの薄型化や大型化、画質の向上に大きく貢献するリーディングカンパニーです。

以 上

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目 7 番 1 号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

総務部 広報担当

電話：077-537-1702

《製品に関するお問い合わせ》

ディスプレイ事業本部 ディスプレイ営業統括部 電話：06-6399-2726